

## 折尾駅駅前広場の整備について（報告）

### 1 背景

折尾地区総合整備事業は、折尾駅を中心とした既成市街地を、学園都市や北九州学術研究都市の玄関口にふさわしい地域拠点として整備するため、連続立体交差事業、街路事業、土地区画整理事業を総合的に実施している。

駅前広場の整備については、鉄道とバスの乗り継ぎや自家用車による送迎などがスムーズになり、また、駅周辺がまちの顔として新しく生まれ変わるなど、魅力的でにぎわいのある街づくりに大きく寄与するものである。

この度、地域の方々や学識経験者、交通事業者などの意見を伺いながら駅前広場の計画を作成したものの。

### 2 折尾駅駅前広場の状況

折尾駅駅前広場は、事業開始前、駅南側（東口）に1か所あり、バス、タクシー、一般車が混在し大変混雑していた。（その他に、西口にもバス停があった。）

平成24年度から、鉄道高架化工事のため、駅北側に暫定駅前広場を整備し、バス乗場を仮移転させている。

### 3 交通の特性

#### (1) バスの運行状況

- ・折尾駅へのバスは、1日770本。（市営バス536本、西鉄バス234本）
- ・バスの半数以上が、青葉台や学研都市などの北側からの路線である。  
（市営バスは北からが7割、西鉄バスは東と南からがそれぞれ4割）
- ・折尾駅へのバス利用者は、1日約4千人。約8割が北側からの利用者である。

#### (2) 一般車による送迎の状況

- ・送迎車は午前7時台がピークで、西口前の道路は路上駐車が多く混雑している。
- ※H20実測値 約2,400台/日（東口1,091台（ピーク時100台）、西口1,305台（ピーク時300台））

### 4 地元や交通事業者などの主な意見

#### (1) おりお未来21協議会（地域のまちづくり団体）（H25～）

- ・北側からの送迎車が非常に多い。北側の駅広にバスとタクシーと送迎車が入ると非常に混雑し路上駐車が増える。送迎しやすい駅広にしてほしい。
- ・バス乗場は1か所にまとめ、わかりやすい駅広にしてほしい。
- ・南側にバスを集約すれば、南側に人の往来が多くなり活性化につながる。
- ・バスを南側に集約するなら、北側の道路にバス停を設置してほしい。

#### (2) 新折尾駅周辺整備検討会（学識経験者など）（H22～）

- ・バスを南側に集約すると、半数以上を占める北側からの路線が、混雑する折尾4丁目交差点での右左折が無くなり合理的であることがわかった。
- ・バスを南側に集約することでわかりやすい。良い機能分担である。
- ・雨に濡れずに乗り継ぎができる快適性を。
- ・身障者乗降場に一般車が停めにくいように配慮を。

(3) 北九州市障害福祉団体連絡協議会 (H29～)

- ・地域の実情に合わせて、バス乗場を1か所にまとめ、利用しやすくわかりやすい駅広にしてほしい。

(4) バス事業者 (市交通局、西鉄バス北九州 (株)) (H29～)

- ・バス乗場は1か所にまとめた方が利用者にとってわかりやすい。
- ・バスと小型車のロータリーをできるだけ分けてほしい。

(5) タクシー事業者 (H29～)

- ・タクシー乗場は利用者にとって南北両方にある方が便利である。

## 5 駅前広場の計画の概要

(1) 規模

- ・北側 9,800 m<sup>2</sup>、南側 8,020 m<sup>2</sup>、合計約 18,000 m<sup>2</sup>

(2) 基本方針

- ・「交通機能」と「交流・シンボル機能」の二つの機能を持った駅広とする。

(3) 交通機能の配置方針 (別紙1)

○地域の交通実態に即した、利用しやすい駅前広場とする。

- ・バスは南側に集約し、分かりやすくする。
- ・北側は一般車とタクシーが利用するものとし、送迎しやすい駅前広場とする。

【期待される効果】

- ・交通量の多い交差点でのバスの右左折が減り、定時性、速達性が確保される。
- ・北側～学園大通り間の歩行者の安全性、快適性が高まる。
- ・折尾中間線など周辺道路への送迎車両の路上駐車を抑制できる。
- ・南側利用者が増え、南側周辺への民間投資が進み、活性化につながる。

(4) 交流・シンボル機能の配置方針 (別紙2)

○新しい市街地の発展に寄与する広場とする。

- ・イベントを通じたまちの活性化
- ・学生や近隣住民が憩える場の提供
- ・「学園都市」の名にふさわしい、豊かな景観形成による町のイメージ向上

【期待される効果】

- ・駅前広場を核として、まちの価値を高めていく。

(5) 計画図 (別紙3)

## 6 今後の予定

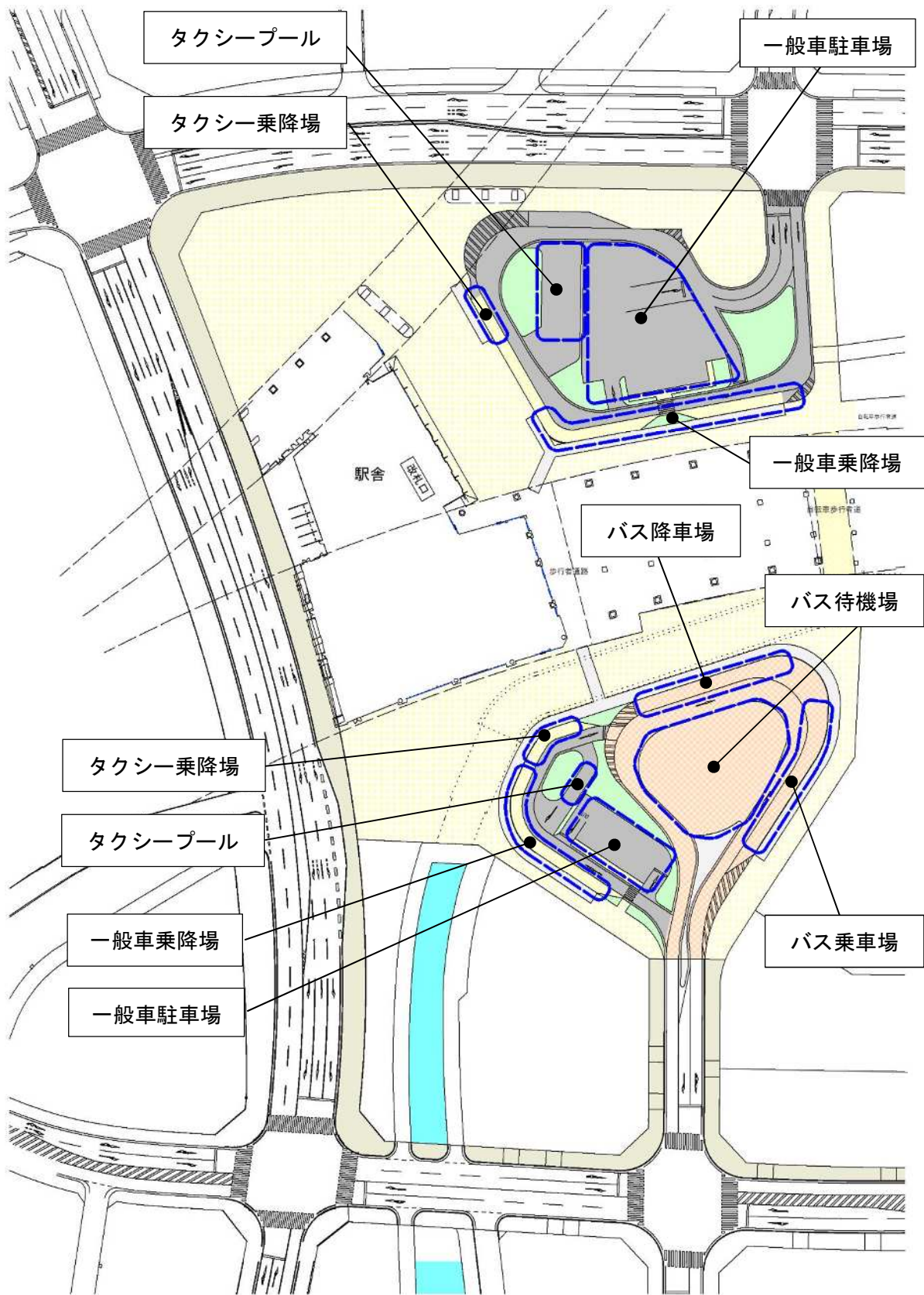
(1) 駅前広場の計画の周知

- ・市HPや情報誌「ニュースおりお」を活用して周知する。

(2) 駅前広場の整備時期

- ・北側駅前広場 令和3年度～4年度
- ・南側駅前広場 令和5年度～6年度

交通機能

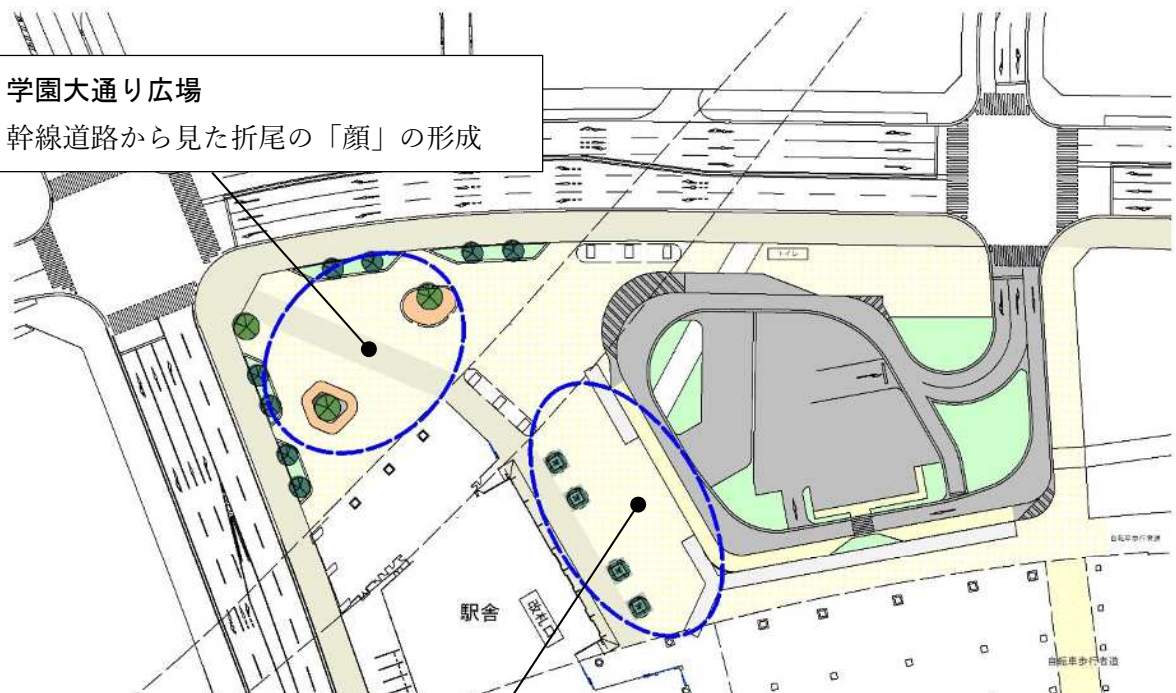


※この計画図は、今後の設計や施工の段階で一部変更の可能性があります。

## 交流・シンボル機能

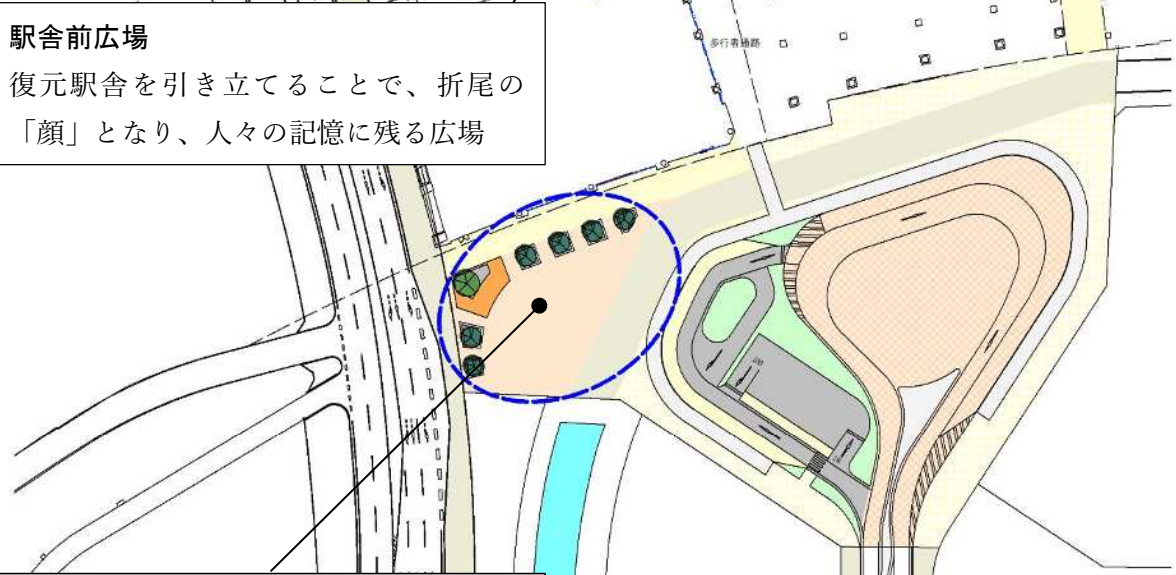
## 学園大通り広場

幹線道路から見た折尾の「顔」の形成



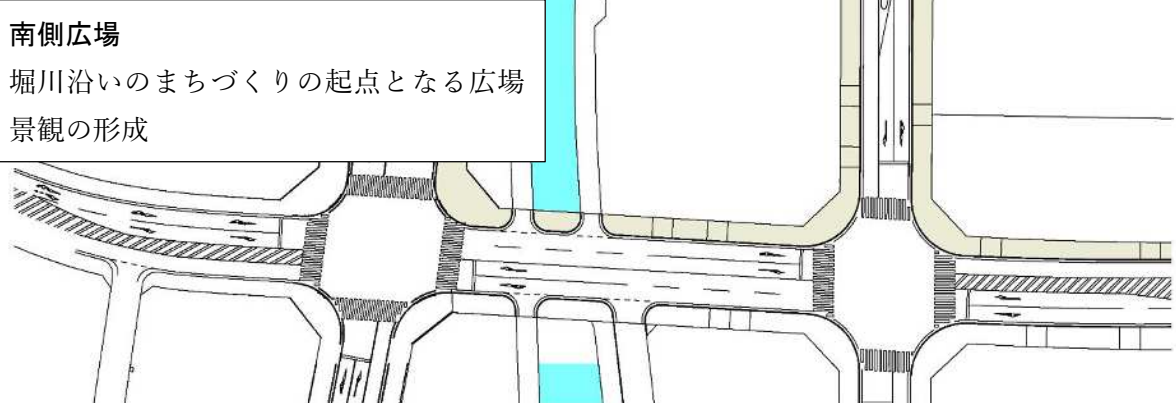
## 駅舎前広場

復元駅舎を引き立てることで、折尾の「顔」となり、人々の記憶に残る広場



## 南側広場

堀川沿いのまちづくりの起点となる広場  
景観の形成



※この計画図は、今後の設計や施工の段階で一部変更の可能性があります。



折尾駅駅前広場 計画図



※この計画図は、今後の設計や施工の段階で一部変更の可能性があります。